

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	03	01	03	0402	障がい者地域生活支援事業	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-5	福祉の充実			
	施策	3	障がい者福祉の充実			
目的	障がい者総合支援法に基づく地域生活支援事業及び各種助成事業を推進					
対象	身体・知的・精神及び難病患者等で障がいのある方					
意図	障がい者の自立と社会参加の促進を図るため、福祉サービス費の補助、手当等給付を実施					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
<p>●地域生活支援事業</p> <p>①地域生活支援事業委託…生活訓練（視覚、聴覚）、ボランティア養成（手話通訳、要約筆記、点訳）、要約筆記者派遣、広報（声、点訳）、福祉機器リサイクル、手話奉仕員養成</p> <p>②地域生活支援事業補助金…日常生活用具、訪問入浴、移動支援、日中一時、地域活動支援センター、自動車改造費、自動車運転免許取得、芸術文化講座開催、地域活動支援センター1型事業補助、憩いの家開放事業補助</p> <p>③給付事業…更生訓練給付、就職支度金給付 ④職親委託</p> <p>●補助・給付事業</p> <p>難聴児補聴器購入費助成、住宅改造補助、福祉タクシー券交付、在宅酸素療法患者酸素濃縮器使用助成、特別障害者手当等給付、在宅重度障害者家族介護手当、小児慢性特定疾患児日常生活用具等給付</p> <p>●障がい者スポーツレクリエーション交流事業</p> <p>●車いす身体障害者健康診査事業委託</p> <p>●ふれあい交流事業 ●後見人養成事業</p>						
市民参画の有無 []						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		補助・助成		
				事業協力・協定		
				委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①	ボランティア養成事業参加者	人	計画	50	50	50
			実績	41	31	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①	手話奉仕員養成講座終了者	人	目標	10	10	10
			実績	10	13	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
地域生活支援事業において点訳、要約筆記、手話通訳ボランティア養成事業を実施（委託先：花巻市社会福祉協議会）しているほか、平成25年度より手話奉仕員の養成が市町村の必須事業とされたことに伴い、手話奉仕員養成講座を実施（委託先：岩手県聴覚障害者協会花巻支部）し、奉仕員の養成を行っている。		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	障害者総合支援法に基づく事業及び障がい者福祉の向上のため市で実施する必要がある
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	制度を知らないためサービス利用につながらないというアンケート結果があり、更なる周知が必要
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	障害者総合支援法に基づく事業であり、事業費は年々増加しているため、削減の余地はない
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	障害者総合支援法に基づき適切に事務を行っている
総合評価 …上記評価結果の総括		

平成 27 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	03	01	03	0402	障がい者地域生活支援事業

単位：千円

		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		120,620	126,182		5,562
財源内訳	国・県	59,522	56,660		△ 2,862
	地方債				
	その他				
	一般財源	61,098	69,522		8,424

事業期間	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-------	------	-----------------

部重点施策における目標
障がい者が自立した生活を送っています。

事業開始の背景・経緯
障害者総合支援法に基づく市町村必須事業である福祉サービスの提供及び各種助成事業の実施法に基づく手当の支給

事業概要

- 地域生活支援事業
 - ①地域生活支援事業委託…生活訓練（視覚、聴覚）、ボランティア養成（手話通訳、要約筆記、点訳）、要約筆記者派遣、広報（声、点訳）、福祉機器リサイクル、手話奉仕員養成
 - ②地域生活支援事業補助金…日常生活用具、訪問入浴、移動支援、日中一時、地域活動支援センター、自動車改造費、自動車運転免許取得、芸術文化講座開催、地域活動支援センターⅠ型事業補助、憩いの家開放事業補助
 - ③給付事業…更生訓練給付、就職支度金給付 ④職親委託
- 補助・給付事業
 - 難聴児補聴器購入費助成、住宅改造補助、福祉タクシー券交付、在宅酸素療法患者酸素濃縮器使用助成、特別障害者手当等給付、在宅重度障害者家族介護手当、小児慢性特定疾患児日常生活用具等給付
- 障がい者スポーツレクリエーション交流事業
- 車いす身体障害者健康診査事業委託
- ふれあい交流事業 ●後見人養成事業

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

H28年度の全国障がい者スポーツ大会が岩手県で開催予定であり、情報支援ボランティア（手話、要約筆記）の養成が県下で図られている。競技種目のうち3種目（バレーボール、ソフトボール、フットベースボール）が花巻市で開催される予定であり、市としても引き続き養成事業を実施していく。

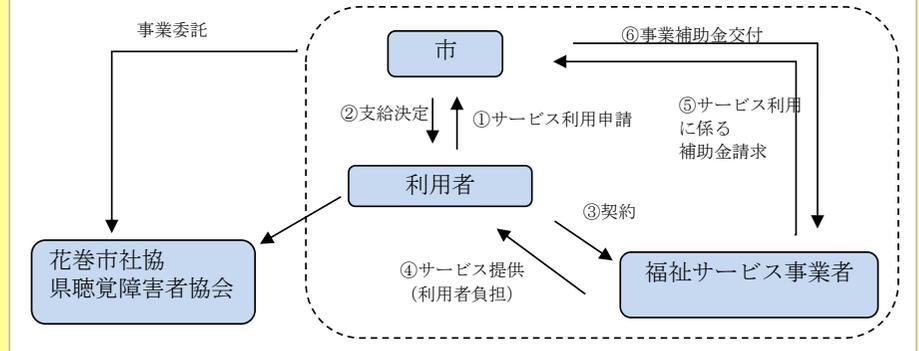
担当部署 部名 健康福祉部 課名 障がい福祉課 担当係長 高橋哲也 内線 517

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

1 地域生活支援事業 77,174千円 (H26 74,232千円)

障害者総合支援法第77条及び第78条に基づき、市町村の地域性に合せた福祉サービスを提供



①地域生活支援事業委託料 3,657千円 (H26 3,678千円)

視覚・聴覚障害者生活支援、要約筆記ボランティア養成・派遣、声の広報・点訳広報、福祉機器リサイクル、点訳ボランティア養成、手話通訳者ボランティア養成、手話奉仕員養成
※手話奉仕員養成→岩手県聴覚障害者協会花巻支部へ委託(600)
その他の事業は花巻市社会福祉協議会へ委託(3,057)

②地域生活支援事業補助金 71,747千円 (H26 70,554千円)

- ・日常生活用具給付 23,464千円 (H26 22,719千円)
H27実績 排泄管理支援用具21,107千円 情報意思疎通支援用具等 2,357千円
- ・自動車改造 327千円 (H26 300千円)
H27実績 4件・運転免許取得 327千円
- ・訪問入浴サービス 15,549千円 (H26 15,052千円)
H27実績 年間延べ利用日数 1,288日
- ・移動支援 1,271千円 (H25 1,303千円)
H27実績 年間延べ利用日数 423日
- ・日中一時支援 15,057千円 (H26 14,453千円)
H27実績 年間延べ利用日数 3,799日
- ・地域活動支援センター事業 1,112千円 (H26 929千円)
H27実績 年間利用日数 286日
- ・芸術文化講座開催 549千円 (H26 549千円)
ふれあい文化祭補助金 (H27.12.4 花巻市文化会館 参加者1,200人)
- ・地域生活支援事業利用者負担補助金 13千円 (H26 0千円)

平成 27 年度事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	03	01	03	0402	障がい者地域生活支援事業

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

・地域活動支援センター I 型事業必須事業補助 14,225千円 (H26 13,254千円)
障がい者に創作活動や生産活動の機会を提供し、社会参加促進を図るとともに、専門職員を配置し、他機関との連携強化のための調整や、障がいへの理解促進を図るための啓発事業を行う
委託先 花巻市社会福祉協議会 「地域支援センターあけぼの」

・憩いの場開放事業補助 180千円 (H26 180千円)
H27実績 年間延べ利用日数 360日

③給付事業 0千円(H26 0千円)
・更生訓練費、就職支度金 実績なし

④職親委託 1,770千円(H26 1,800千円)
知的障害者の就労の推進を図るため、職親5名に生活指導・技能取得訓練等を委託。
職親5人に対し知的障がい者5人を委託
※H28年2月末に1名の就職が決定し自立生活を送ることとなった。
同時に当該職親から解任の要望を受け受理した。現在職親委託は4名となっている。

2 補助・給付事業 47,215千円 (H26 45,059千円)

①難聴児補聴器購入助成補助 73千円 (H26 146千円)
身体障害者手帳の交付対象にならない軽度・中等程度の難聴児の補聴器購入費用の一部を助成
対象者:両耳の聴力レベルが30dB以上70dB未満
負担割合:県1/3、市1/3、自己負担1/3

②身体障がい者住宅改造事業補助 776千円(H26 965千円)
対象者:身体障害者(1級～3級)
補助対象工事費: 上限65万円
補助額:対象工事費の2/3(上限43.3万円)

③福祉タクシー給付 8,424千円 (H26 8,032千円)
対象者:身体障害者(1級～2級等)、知的障害者 A程度、精神障害者 1級
助成額:1枚 500円 交付枚数:1月あたり3枚(年間36枚)

④酸素濃縮器使用助成 614千円(H26 658千円)
在宅酸素療法を必要とする呼吸器機能障害者に対し、酸素濃縮器使用に係る電気料金を助成
24時間吸入1月1,900円(12時間(は800円)×使用月 負担割合 県1/2 市1/2
H27年度 対象者37人

⑤特別障害者手当等給付 37,285千円(H26 35,246千円)
支給月:5月期(2～4月分)、8月期(5～6月分)、11月期(8～10月分)、2月期(11～1月分)
・特別障害者手当 27,691千円
延べ1,044人 (H26:1,002人)
・障害児福祉手当 9,594千円
延べ665人 (H26:649人)
※国民年金法等の一部を改正する法律等の一部を改正する法律により、支給水準の是正が実施される。(特例水準の解消)

特別障害者手当	障害児福祉手当
H25. 10月分～ 26,080円	H25. 10月分～ 14,180円
H26. 4月分～ 26,000円 (▲0.3%)	H26. 4月分～ 14,140円 (▲0.3%)
H27. 4月分～ 26,620円 (+2.4%)	H27. 4月分～ 14,480円 (+2.4%)

⑥在宅重度障害者家族介護手当 0千円 (H26 0千円)
福祉サービスを利用していない20歳以上65歳未満の重度障がい者を介護する家族に対し支給

⑦小児慢性特定疾患児日常生活用具給付 43千円(H26 12千円)
小児慢性特定疾患児に対し、特殊寝台等の日常生活用具を給付することにより、日常生活の便宜を図る

3 障害者スポーツレクリエーション交流事業 9千円 (H26 14千円)
三障がい者の健康増進と自立意欲の向上及び交流を目的に開催 (H27 39名参加)

4 車いす健康診査委託 160千円 (H26 203千円)
車いす使用者の褥そう膀胱機能障害等の発生を予防すること目的に実施

5 ふれあい交流会事業 144千円【H27 新規】
ふれあい交流会実行委員会に負担金を支出 144千円
高校生のボランティア意欲の向上と障がいへの理解を深める

6 後見人養成事業 20千円 (H26 15千円)
※市長申立による成年後見開始審判を請求、第三者後見人が確定し後見が開始されている。

7 その他経費 1,460千円 (H26 1,113千円)
旅費32千円、需用費901千円、役務費527千円